

令和3年度 学位記授与式

令和3年度学位記授与式が規模を縮小して執り行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止に最大限に配慮して、式には卒業生と一部の教職員のみが出席。保護者の皆様にはYouTubeでのライブ配信を行いました。

新藤博明学長は、式辞の中で「諸君はコロナ禍でありながら求められる技術と知識を習得し、ここにあります。自分に自信を持ち、進歩発展する医療人に対して勤勉さと謙虚さを忘れず、最高の医療人を目指してください」と、卒業生を激励しました。

卒業生謝辞では、臨床工学科の南まりやさんが在学中の貴重な経験と本学の厚いサポートが成長につながったと振り返り、「卒業生としての誇りと責任感を持って業務に励むことをお約束します」と誓いを述べました。

令和3年度卒業生表彰者

- 診療放射線学科**
学長賞 寺崎 詩歩
埼玉県診療放射線技師会 会長賞 松下 俊和
埼玉県診療放射線技師会 奨励賞 袴塚 康起
- 理学療法学専攻**
学長賞 関谷 康紀
日本理学療法士協会 学業優秀賞 山下 智樹
全国リハビリテーション学校協会 優秀賞 田中 宏樹
- 作業療法学専攻**
学長賞 高橋 祐香
埼玉県作業療法士会 会長賞 拓郎 奈生
日本作業療法士協会 優秀学生賞 杉沼 里夏
全国リハビリテーション学校協会 優秀賞 柳沢 夏生
國田 夏生
- 看護学科**
学長賞 勝又 麻衣
埼玉県看護協会 会長賞 野村 笑理香
日本私立看護系大学協会 会長賞 大河原 希夏
- 臨床工学科**
学長賞 南 まりや
埼玉県臨床工学技士会 理事長賞 上野 吹雪
日本臨床工学技士会 理事長奨励賞 岡田 稜都
日本臨床工学技士教育施設協議会 代表理事賞 北村 聖菜



各学科・専攻長から学生へのメッセージ

卒業生謝辞。「本学での学びを実践に結びつけます」と決意を述べました

開催日: 2022年3月10日
会場: 川越プリンスホテル (川越市新富町1-22)

令和4年度 入学式

令和4年度入学式が規模を縮小して執り行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止策をとった上で、式には新入生と一部の教職員のみが出席。保護者の皆様にはYouTubeでのライブ配信を行いました。

学長式辞では「国家資格の取得は容易ではないが、日々の努力を惜しまなければ、必ず達成できます。教職員も全力でサポートします。諸君は将来、生命や健康という人間の根源に接することになります。人として大きく、あらゆることを吸収できる人になるよう努めてください」と期待を述べました。

2022 Entrance Ceremony



開催日: 2022年4月4日
会場: 川越プリンスホテル (川越市新富町1-22)



ご入学おめでとうございます

学生宣誓。「将来、立派な医療従事者を目指します」と誓いを述べました

新入生代表として学生宣誓に立つた理学療法学専攻の藤林直さんは「本学の学生として輝かしい軌跡を残せるよう努力と研鑽を重ねることを誓います。同じ目的を持った仲間と手を携えて精進してまいります」と誓いの言葉を述べました。

Interview

コロナ禍でも高い合格率は 学びを支える体制と環境の証明 その先を見据える「人間力」



新藤博明学長

「生き抜く力」を育てる

「本学のアイデンティティを表すタグライン」。「OPEN MEDICAL」— 生きる力を—」の意味をお聞かせください。

学長 「OPEN MEDICAL」は、医療従事者を育てる本学に相応しい姿を想像し創造する、という強い意思を表しています。チーム医療がいわゆる今、その意思を分かりやすい英単語を用いることで、誰もが理解できる言葉にしています。そして、「生きる力を。」とは、将来医療従事者として活躍する学

「コロナ禍でも高い合格率 学びを支える本学の強み」

「国家試験において、各学科専攻とも高い合格率を維持しています。特に看護師と保健師の国家試験は合格率100%を達成しました。その要因を聞かせてください。

学長 本学には教職員による個人指導や保護者との緊密な連携、友人との学び合いなど、多様で手厚い支えがあります。勉強は、基

学長 新藤 博明

生に求められる姿を示しています。これからの時代、医療の世界でも国際化が進むでしょう。海外の人材や他の医療従事者との競争には資格の取得だけでなく「人間力」も必要となってきます。将来を見据え、意味をしっかりと考え、歩み

を続けていく。そんな人材を育てる意思を表しています。

本的には本人の頑張りですが、人は支えがあつてこそ頑張れるものだと思います。こうした環境が、高い合格率につながっていると考えています。

昨年度の卒業生は、コロナ禍で2年間学びました。オンデマンド授業などが増え、様々な影響があつたにもかかわらず、高い合格率を達成したことは、本学に十分に対応できる体制と環境が整っている証明であり、大きな自信になりました。

本学は、様々な学部がある他大とは異なり、全学生が国家試験合格という共通の目標を持つっており、学生数も約1700人と目が届きやすい環境です。こうしたことから、進むべき方向がぶれず、コロナ禍にあるべき学びに即応でき、医療従事者に求められる総合的な資質を身につけられる環境につながっていると考えています。

「人間力」へ目を向ける

「高い合格率の先に見据えているものは何ですか。」

学長 医療従事者が向き合うのは人の体や命、そして心です。医療は科学ですが、治療や検査などの技術以外にもケアすべきことがたくさんあり、これからの医療現場ではますます必要とされると考えられています。

学生が将来、医療従事者としての役割を果たすために、本学が育てる「生きる力」。高い合格率を担保しながら、患者様としっかり向き合える「人間力」へ目を向けることが、本学がこれからも進むべき方向だと考えています。

様々な人と出会って話す、いろいろなものを見る、外国を知るなどの機会を提供することも一つです。こうした経験はきっと、学生に何らかの変化をもたらすと思います。そこから身につく力をさらに磨くことが、成長につながると思います。保護者の皆様には「ご理解とご協力をお願いします。」

国家試験の傾向と対策について 学科・専攻長からのメッセージ

診療放射線学科 学科長 桑山 潤

令和3年度診療放射線技師国家試験は、比較的素直な出題が多く、近年でも高い合格率でした。問題の難易度にかかわらず、基礎をしっかりと固めて臨めば合格することができます。一歩ずつ確実に対策を進めてください。

いまだコロナの感染状況は改善しておらず、感染症対策にかかる学生へのストレスも継続しています。ご家庭での支えが大変重要であり、保護者様には、これまでに以上に心と体のサポートをお願いいたします。

リハビリテーション学科
理学療法学専攻 専攻長 伊藤 芳保

令和3年度理学療法士国家試験は、複数選択問題が2013年以来の出題数となり、不適切問題が11題と例年に

ありました。特に、五肢択二問題と計算問題が増えており、保健師としての知識が求められています。

学んだ知識を積み重ねるためには、予習復習など地道な努力が必要です。加えて、試験対策に1日も早く取り組みが必要があります。また、コロナ禍であり、感染症に関する問題へ対策しておくことも必要です。

保護者の皆様には、ご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

臨床工学科 学科長 中尾 教伸

令和3年度臨床工学技士国家試験は、出題基準が改訂されて初めての試験でした。基本的な知識を問う出題が多くみられるのは例年通りで、複数の知識を組み合わせるといった思考力を問う問題や、臨床現場での知識・思考過程を問う問題が増えています。

国家試験対策としては、過去10年分程度の問題を分野別、項目別に解いて出題傾向をつかみ、基本的な知識を確実にしていきましょう。このとき、正解を得ることにこだわらず、問題文中の用語をしっかりと理解し、各選択肢の内容

なく増えました。通所・在宅リハビリに関する出題、介護保険制度に関する知識を問う出題は、これまで通りの傾向が続いています。

基本的知識が問われることに加え、臨床病態(症例)につながる応用的能力が求められます。従来通りの力学的計算問題も出題されており、過去の問題を確認しておく必要があります。

国家試験では、専門分野全ての領域が問われます。特に実地問題は、臨床実習で経験したコミュニケーション態度なども含めて出題される傾向にあります。このため、地道に勉強を続ける習慣が大切です。保護者の皆様には、ご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

リハビリテーション学科
作業療法学専攻 専攻長 本田 豊

令和3年度作業療法士国家試験は、これまでと比較して、検査法や病名、症

を解説できるようになることがとても大切です。

また、学んだことをアウトプットしてチェックすることも、知識の定着のためには重要です。問題を解き直す、間違いノートを繰り返し復習することも効果的です。

保護者の皆様には、ご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

臨床検査学科 学科長 伊藤 昭三

令和3年度臨床検査技師国家試験は、昨年と比べ難易度が上がり、過去問の分析など受験技術の修得も大切になっています。ただ、1〜4年生までの専門基礎科目、専門科目の授業をしっかりと受講し、テキストをくまなく精読することが、時間対効果を最も高めると思えます。特に3年生後期の臨床実習(病院実習)に向けて、知識の整理や技術の確認などを目前の目標にすることが、4年生後期の国家試験合格へつながります。

本学科の学生は、2025年2月に初めての受験を迎えます。保護者の皆様には、ご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

状など医学の知識が幅広く出題され、作業療法実地問題は知識の丸暗記では解答できない水準で、臨床思考能力を必要とする出題が増えています。

特に、多くの情報が含まれる長い問題文の意味を理解できる読解力の重要性が増しています。教科書を暗記するのではなく、幅広く理解し、その知識を自分の言葉で表現できるようにする学習レベルを目指してください。

保護者の皆様には、ご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

看護学科 学科長 風間 みえ

令和3年度看護師国家試験では、社会情勢に応じた能力を問う問題が出題されています。出題方式では、長文読解力を必要とする問題と、暗記力よりも思考力を必要とする問題の増加がみられます。また、必修問題においては50問中36問が過去の出題を流用しており、重要な視点に関する問題も継続して出題されています。

令和3年度保健師国家試験では、出題の意図を理解し、理論と照らし合わせて正解を導き出す力が問われる傾向に

事務局紹介 第9回

「国家資格の取得」と「充実した大学生生活」の両立を目指し、様々な事務局が学生をサポートしています。今回は広報課を紹介いたします。

広報課

広報課では、高校へ出向いて行う大学紹介ガイダンスや模擬授業、高校教員との面談のほか、オープンキャンパスなどの入試に特化した受験生向けの広報活動を行っています。

また、広報に関わるグッズの制作、大学パンフレットや「大樹の礎」などの刊行物の発行、ウェブサイトやSNSの管理、記事動画作成、プレスリリース出稿や取材対応などといった大学全体のブランディングも重要な業務です。

そのほか、

一般・地域の方向に向けて、本学が取り組む教育・研究を公開講座という形で分かりやすく紹介するなど交流を図っています。



新任教員の紹介



医療・基礎教育科 助教 大鷹 豊
臨床検査学科 助教 島村 明花
臨床検査学科 教授 関 貴行
臨床検査学科 教授 横尾 智子
看護学科 助教 谷口 友子
看護学科 助教 鈴木 晶子
看護学科 講師 藤澤 博子
看護学科 講師 小倉 久美子
看護学科 講師 吉江 由美子
看護学科 講師 荒木 美津子
看護学科 教授 末永 弥生
理学療法学専攻 助教 山口 和人
理学療法学専攻 助教 稲垣 郁哉
診療放射線学科 助教 藤井 義大